

—エンドユーザーである市民との連携をめざして—

水環境NGO・NPO等のご紹介

■こてはし台調整池水辺づくり協議会

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号

千葉市下水道局建設部下水道計画課

Tel 043-245-5415 Fax 043-245-5563

URL <http://www.city.chiba.jp/gesui/index.html>

メンバー

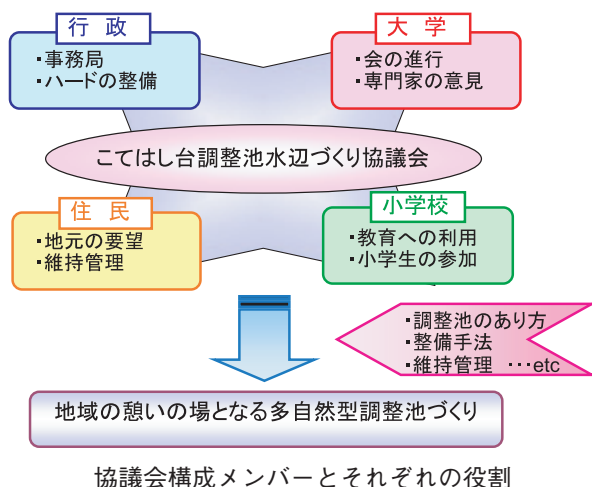
代表者 立本 英機（元千葉大学教授）

こてはし台自治会、こてはし台小学校、
千葉大学、千葉市

概要

千葉市花見川区こてはし台にある「こてはし台調整池」は、千葉県住宅供給公社による「こてはし台団地」造成に伴い流末排水路への放流量抑制を目的として築造され、1974年からは千葉市が管理しています。敷地面積は10,000m²、滞水面積9,874m²で、周囲がコンクリート張りの方形構造をしています。もともときれいな桜並木がありましたが、花見をするような場所もないため住民は立ち寄らず、多様な自然があるにもかかわらず、危険なため、子どもたちは「危ないから近づいてはいけない」と教えられてきました。

「こてはし台調整池水辺づくり協議会」は、2003年3月に「第3回世界水フォーラム」が開催されたことをきっかけに、地域に住むすべての人々に潤いと憩いを与える多自然型調整池のあり方について、住民、行政、専門家など多様な関係者を交えて議論し、それら



「夢の調整池」完成予想図



以前の調整池。
晴天時（上）と雨天時



の意見が反映されるような仕組みをつくることを目的に、千葉市と千葉大学、こてはし台自治会、こてはし台小学校の4者で設立しました。

活動内容

●水辺づくりにおける市民、行政、学校のパートナーシップの形成

「こてはし台調整池およびその周辺」を有効利用することで、子どもたちおよび大人たちの安全かつ

快適で豊かな生活ができ、さらにより一層の人間形成に役立たせる場として利用する手法を地域社会、行政、学校が一体となって検討していきます。

●多自然型調整池づくりと協働作業による維持管理の検討

多自然型調整池のデザインに向けて、調整池およびその周辺の水辺再生、水辺回復への啓発・提案・手法・維持管理について地域住民や学校と協働して具体的に議論し、地域住民が親しめる調整池をつくりあげます。

●子どもたちによる「夢の調整池」の考案

地域の小学生の夢を整備に取り入れるために、調整池の中に児童らと一緒に入って見学会を行い、これをもとに児童が作文や絵で書いた“夢の調整池”をデザインに反映した、遊歩道や池、ビオトープなどを設けた多目的型調整池の検討を行いました。



協議会でテーブルを囲む関係者



子どもたちの描いた夢の調整池の絵を参考に



5月28日に行われた協働作業の様様

●「夢の調整池」の実現に向けた協働作業

5月28日に行われた協働作業には、こてはし台小学校6年生の児童140名をはじめ、地元住民、千葉市や千葉大学の立本元教授ら約200名が参加しました。スコップで水路を造る溝掘り作業、池の周りに石の敷き並べ、草むしりなどに取り組みました。また、調整池には生活排水も流れ込むため、水の浄化施設として、網に入れた竹炭も沈めるなど様々な工夫を凝らしました。今後は池の周りの歩道整備などを進め、来年3月までに「夢の調整池」を完成させるよう取り組んでいく予定です。

●多自然型調整池における生活排水の自然浄化機能の調査

調整池に育成している水生生物および土壌微生物による生活排水の混入に対する自然浄化の効果を調査し、多自然型調整池が地域の水環境にどのような影響を及ぼすかを明確にしていきます。